

夢つくし 元気つくし ヒノヒカリ

5月 6月 7月 8月 9月 10月

下 上 中 下 上 中 下 上 中 下 上 中 下 上 中

浅水 中干し 間断かん水 浅水 間断かん水

活着 分けつ期 穂分け期 穂首分化期 枝梗分化期 籾の退化期 花粉分化期 出穂 乳熟期 登熟中期 登熟後期 成熟期

田植 坪当たり 60株植 出穂20日前 落水 収穫

種子の消毒法  
●温湯による方法  
60℃の湯に10分間浸種(モチは8分)水で直ちに冷やす。  
●薬剤による方法  
水20リットルに対してスポルタック乳剤20ccとスミチオン乳剤20ccの混合液に、24時間浸種。

生卵による比重測定法  
塩水をつくり方(食塩か硫酸どちらか一方をとく)  
稲の種類 比重 水10ℓに対する容量(食塩) 硫酸  
うるち無芒 1.13 1.94kg 2.68kg  
もち 1.08 1.11kg 1.46kg

出穂期・収穫期の目安

	夢つくし	元気つくし	ヒノヒカリ
田植	5/25植	6/20植	6/20植
出穂期	7/31	8/19	8/26
収穫期	9/2	9/26	10/6

刈り取り適期は穂軸の枯れ具合で判断する場合は、先端から1/4程度を目安とする。

斑點米対策  
適期草刈を実施して被害粒軽減  
斑點米カメムシ被害粒

レンゲ播種

10a当たり 2~3kg/10a

刈り取り後の注意 (出荷時水分14.0~15.5%)

●刈り遅れのないように。(「収穫期の穂の姿」を参照して下さい)  
●乾燥は……低温で、ゆっくりと……。

目標水分15% (もちは14%)

刈取り 2~3時間以内に※晴天下に放置しない  
乾燥機投入 温度はかきけない 20~22%を目安に  
熱乾燥 加熱 18%を目安に  
一旦休止 水分の平均化 6時間後水分測定  
熱乾燥 加熱 15.0~15.5%まで!  
停止 熱冷まし 6時間程度 この間に0.5~1.0%乾燥します  
粗出し 目標水分15.0%を守りましょう。

種子更新・農産物の検査の受験・栽培管理表の記載の3つの要件を満たしたお米を、JA米として扱います。

JA米生産基準

- ①肥料・農業生産資材は原則として、こよみ・資材の注文票に記載されているものを使用すること。記載されていない資材等を使用する場合は、使用基準を厳守すること。
- ②適期適量施肥及び農薬の適正使用と飛散防止対策を徹底すること。
- ③適期収穫に努め、米袋で出荷する場合は表示が正しいか確認すること。
- ④栽培履歴に記入漏れや間違いがないか確認すること。
- ⑤JA米とそれ以外を区別してJAに出荷すること。

低コスト除草剤

サラブレッドKAIフロアブル 田植時~10日まで 10a当たり500ml  
サラブレッドKAIジャンボ 田植直後~10日まで 10a当たり10袋(400g)

サラブレッドKAIキロ粒剤 田植時~10日まで 10a当たり1kg  
サラブレッドKAI400FG 田植直後~10日まで 10a当たり400g

箱施薬  
防人箱粒剤・50g/箱(は種期~田植当日まで) いもち病・もみ枯細菌病・ウンカ類・コブノメイガ  
スクラム箱粒剤・50g/箱(移植3日前~田植当日まで) いもち病・紋枯病・もみ枯細菌病・ウンカ類・コブノメイガ  
ブーンハーデス箱粒剤・50g/箱(は種期~田植当日まで) いもち病・紋枯病・ウンカ類・コブノメイガ

ジャンボタニシ対象薬  
スクミノン・1~4kg/10a(収穫60日前まで)

粒剤体系 (粉、水和剤より 7~10日早く施用)  
スタークル豆つぶ・250g/10a(収穫7日前まで) ウンカ類・カメムシ類  
スタークル粒剤・3kg/10a(収穫7日前まで) ウンカ類・カメムシ類  
クラブ粒剤・3kg/10a(収穫14日前まで) ウンカ類・カメムシ類  
モンガリット粒剤・3kg/10a(収穫30日前まで) 紋枯病・福こうじ病  
ワイドパンチ豆つぶ・250g/10a(収穫35日前まで) ウンカ類・カメムシ類・いもち病・紋枯病・福こうじ病

粉剤体系  
エクシード粉剤DL・3kg/10a(収穫7日前まで) ウンカ類・カメムシ類

水和剤・水溶剤等 (使用後器具を3回以上洗浄)  
ノンプラスフロアブル・1000倍(収穫7日前まで) いもち病・福こうじ病  
スタークル顆粒水溶剤(収穫7日前まで) ウンカ類3000倍 カメムシ類2000倍 ウンカ類・カメムシ類(ただし、出穂期間使用不可)  
クラブフロアブル・2000倍(収穫14日前まで) ウンカ類・カメムシ類

作業管理記録簿	種子消毒	播種	元肥	田植	除草	穂肥	落水	稲刈り
	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日
	方法		肥料名	坪 株植	方法	肥料名		
	農薬名		施肥量		農薬名	施肥量		

一番こわいのは、気づかぬうちにジワジワ体をおかす慢性中毒です。 ①マスクは常識 ②妊娠中、生理中、体の調子が悪いときは、散布しない。 ③散布途中はタバコを吸わない。終わってから酒を飲まない。 ④散布が終わったらうがいをし顔をせっけんで洗う

地球温暖化防止 稲わらは秋にすき込み、腐熟を進めましょう!

※注意事項  
処理後7日間、落水、かけ流しは控えましょう。使用前にラベルや説明書をよく読んで下さい。

●初期除草剤  
①ウィニングランジャンボ 田植直後~10日、10a当たり10袋(500g)  
②プライオリティジャンボ 田植直後~12日、10a当たり10袋(250g)  
③ゼータプラスジャンボ 田植後3~12日、10a当たり10袋(200g)  
④ポデーガードプロ1キロ粒剤 田植後5~12日、10a当たり1kg  
⑤ポデーガードプロジャンボ 田植後5~12日、10a当たり10袋(300g)

●中後期除草剤  
⑥クリンチャーバスME液剤 田植後15日~ノビエ5葉期 100倍(落水後散布。散布後3日間は入水しない)  
⑦アトトリ豆つぶ250 田植後14日~ノビエ4葉期 10a当たり250g

肥料のめやすと土づくり

●1 施肥

品 種	ヒノヒカリ		夢つくし		元気つくし	
	元肥	穂肥	元肥	穂肥	元肥	穂肥 2
有機質肥料利用型	赤とんぼの里 40kg	赤とんぼの里30kg または 粒状なたね油粕 60kg	赤とんぼの里 40kg	赤とんぼの里20kg または 粒状なたね油粕 40kg	赤とんぼの里 40kg	赤とんぼの里20kg または 粒状なたね油粕 30kg
有機質肥料一発型	有機エムコート077 70kg					
元肥一発型	Jコート2000晩稲 35kg	(葉色が薄い場合) 尿硫燐48号 10kg	Jコート2000 30kg	(葉色が薄い場合) 尿硫燐48号 10kg	Jコート2000晩稲 35kg	(葉色が薄い場合) 尿硫燐48号 10kg
慣行型	尿硫燐48号 25kg または ベスト化成444 30kg	赤とんぼの里35kg または ベスト化成444 20kg	尿硫燐48号 25kg または ベスト化成444 30kg	赤とんぼの里20kg または ベスト化成444 15kg	尿硫燐48号 25kg または ベスト化成444 30kg	赤とんぼの里15kg または ベスト化成444 10kg

●2 土壌改良材

土壌改良材名	施用量のめやす	土壌改良材名	施用量のめやす
粒状ミネラルG	200kg/10a	珪酸加里	40kg/10a
ケイカル		パワーリン5号	
ケイ鉄		アヅミン	
とれ太郎	60~80kg/10a		

●3 有機物の投入  
化学肥料だけに頼らず、有機物を積極的に使い土づくりを心がけます。ただし、右表を目安にして、チッソ成分が多すぎないように注意しましょう。堆肥は多すぎないように、適正量を遅くとも3月までに入れましょう。

有機物の種類	成分(%)			田んぼでのめやす(10a)
	チッソ	リン酸	カリ	
レンゲ	0.4	0.1	0.3	4~5t
牛ふん堆肥	0.5	0.4	0.4	2t
乾燥鶏ふん	4.0	4.5	2.5	100~200kg
生鶏ふん	1.6	1.5	0.9	200~300kg